おもちゃの図書館　全国情報

トイ・ポスト

No.153

発行日：2024 年 10 月 22 日　発行者：特定非営利活動法人おもちゃの図書館全国連絡会　〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 2-25-11
電話　０３-６８０７-８８１３　Fax０３-６８０７-８８６３ E-mail:renrakukai@toylib-jpn.org HP:http://www.toylib-jpn.org/

続けていくことの先に見える豊かな可能性

認定 NPO 法人おもちゃの図書館全国連絡会
相談役　　山下敏夫

能登半島を襲った一月の大地震、復旧もままならない中での先月の水害。言葉になりません。現地のおもちゃ図書館も被害が甚大だと聞きました。おもちゃの図書館全国連絡会が鈴木訪子代表を中心に、被害にあった各地のおもちゃ図書館に直接支援を行って下さる事に心から感謝しています。

1983 年 4 月めだかふぁみりぃ（NPO法人の前身）の活動が始まりました。たまたま大学の先輩でもあった小林るつ子さんと出会って、1985 年に埼玉・川口におもちゃ図書館を開設することが出来ました。〖障がいのある子とその友達のためのおもちゃ図書館〗として障がいの有無を越えて共に育つ楽しい場所になっていきました。その後は、子どもたちの成長にあわせて「こんなことさせてあげたい」「こんな場所があったらいいのに・・」と必要なことや場所をその時々に出会った人たちと一緒に次々と積み重ねて作って行きました。それは結果として、障がいのある人たちも町の中で共に生きていくためのシステムを構築していったのかも知れません。

地域性を生かして障がいのある人が豊かな地域生活を送れるように活動している「おもちゃ図書館」が全国には数多くあり、おもちゃ図書館活動はさまざまな可能性を秘めています。

特に、「おもちゃの図書館」でおもちゃを通してボランティアさんと関わり、楽しんで遊んだ経験がその後の障がいのある人の地域での生活を豊かにすること（余暇活動や社会参加）に繋がっていったと思います。

これからのおもちゃ図書館の活動が、全国連絡会を通して繋がり支えあって時代や地域の課題をもとりこみ、それぞれの地域を耕していけると期待しています。

【プロフィール】・・・小学校の校長〖三校〗特別支援学級・通級学級・ことばの学級・高齢者交流室等に関係していた学校に勤務していました。在任中に、おもちゃの図書館初代代表小林るつ子さんからバトンを受け取り、おもちゃの図書館全国連絡会の二代目代表になりました。退職後、社会福祉法人めだかすとりぃむの理事長になり、昨年退任し、現在は児童発達支援「めだかのいっぽ」の園長です。

おもちゃの図書館全国ネットワーク会議

2024 年（令和 6 年）8 月 30 日（金）9：45～13：00　参加者 27 名
会場：荒川区立障害者福祉センター（アクロスあらかわ）

全国各地の活動についての情報交換を図り、おもちゃ図書館活動の継続、さらなる発展へ繋げる場として、今年も全国ネットワーク会議が開催されました。例年は 6 月の NPO 総会と同日開催ですが、今年は東京おもちゃショーの日程が変更になったこともあり 8 月開催となりました。大型の台風の接近で、残念ながら西日本からの参加者はすべて欠席となりましたが、東京周辺、そして西は愛知、北は北海道からの参加があり無事に開催することができました。

会議では鈴木訪子理事長から基調報告があり、その後 1 月の大震災で被災した輪島わくわくおもちゃの図書館の尾坂さんより輪島報告、2 か所からの事例発表、グループ毎の情報交換を行いました。情報交換の中では活動の様子をはじめ「おもちゃ図書館グッドエピソード」の発表をして、改めておもちゃ図書館のボランティア活動の魅力をお互いに確認しあうことができました。その後、（一財）日本おもちゃ図書館財団の山科誠代表理事、高橋秀明事務局長にお越しいただき、永年活動館への表彰式が行われました。

上：基調報告　下：尾坂さん輪島報告

＜アンケートより＞
・地縁が薄れていく中で、親子同士がつながりあえる場の大切さが改めてわかりました。（基調報告）
・「60cm ともだち距離」はとてもわかりやすかったです。自分も取り入れていきたいと思いました。（基調報告）
・まだまだ復興されていない状況をテレビなどで見て心配していましたが、実際の様子を詳細に聞くことができて納得できました。全国連絡会の支援が役立ったと聞き、ネットワークの大切さ、温かさを感じました。（輪島報告）
・情報交換で各館のより詳しいお話を聞いたり、自分も話したりして楽しい時間を過ごすことができました。
・多様な人がボランティアとして集まって、子どもたちのために！というエネルギーがあふれて温かい集まりでした。
・永年活動表彰の皆さんのお話も素晴らしかった。

事例発表；上　ふらっとマムおもちゃ図書館　皆川さん
下　あかぎ山ろくおもちゃの図書館　鈴木さん

左より　高橋秀明事務局長、よこはま布えほんぐるーぷ、山科誠代表理事、佐倉おもちゃ図書館、あしかがおもちゃの図書館（2 名）

～永年活動表彰　おめでとうございます！～

全国ネットワーク会議にて、永年（20 年・30 年・40 年以上）活動を続けられている館へ、一般財団法人日本おもちゃ図書館財団の山科誠代表理事より表彰状が贈呈されました。今年の贈呈先は 40 周年７館、30 周年３館です。永年の活動に心より敬意を表します。40 周年の各館よりメッセージをいただきました。今年度は表彰館が多いため 30 周年は次号にてご紹介いたします。（20 周年は表彰希望館なし）

【永年活動表彰状贈呈おもちゃ図書館】

≪40 周年≫

千葉県　佐倉おもちゃ図書館
静岡県　浜松おもちゃ図書館
静岡県　しずおかおもちゃ図書館
神奈川県　よこはま布えほんぐるーぷ
栃木県　あしかがおもちゃの図書館
愛知県　春日井市おもちゃ図書はるかぜ
静岡県　ふじおもちゃ図書館

≪30 周年≫

栃木県　下野市おもちゃ図書館きしゃぽっぽ
愛知県　おもちゃ図書館あぷりこっと
愛知県　半田市おもちゃ図書館つみき

≪40 周年≫

☆☆佐倉おもちゃ図書館（会員 NO.20）千葉県佐倉市

佐倉おもちゃ図書館は 1982 年、障害を持つ子の親数人を中心に、小林るつ子さんや市社協の心強い応援を得て自主開始し、翌年には市社協の事業となり、全国連絡会にも参加、現在に至ります。写真は 10 年前の 30 周年記念会終了時の、社協担当者とボランティアメンバーの記念写真で、あれからさらに 10 年が過ぎたのかと感慨もひとしおです。初代代表は、思い出を「千葉県初の開館で注目を浴びたくさん取材も受けました。全国連絡会の情報や東京のおもちゃショーで想像を超えたおもちゃに驚いたり童心に帰ったり。佐倉市と社協の助成にも恵まれました。」と語っています。

最初の目的の障害のある子どもたちのための図書館が、子育て支援の一環を兼ねたものに変わってきました。それを受け止めながらこれからも子どもの居場所お母さんたちの憩いの場として、心の中に残ることを祈って、できることを続けていきたいと思っています。（岸節子）

☆☆あしかがおもちゃの図書館（会員 NO.22）　栃木県足利市

あしかがおもちゃの図書館は、昭和58年7月17日に開館しました。その間、たくさんの方々に支えて頂き、今も継続する事が出来ています。この度、永年活動表彰を頂けました事も当図書館に関わって頂いた、沢山の方々のお陰であり、感謝の念でいっぱいです。思い起こせば、初代代表である阿由葉久子が特別支援学校に通うお子さんのお母さんから「夏休みの居場所がなくて困っている」と相談を受け、おもちゃの図書館を立ち上げようと、今は亡き小林るつ子さんへ相談に伺った事が、当図書館の物語の始まりでした。本当に短期間でオープンさせたエピソードは、「愛のおもちゃ図書館」や教科書教材の一節として採用されました。初代代表は自身の障害を持つ子の子育ての経験を通して、お母さん達の相談役になり明日への希望やかけがえのない命の大切さを伝えていました。長年続けて行く中で以前のような活動を行うことが難しくなりましたが、今、出来る事を続けようと、おもちゃの貸し出しを行っています。あしかがおもちゃの図書館は子供達が楽しく遊び、笑顔いっぱいの時間と経験を重ね人生の大切な１ページとして輝いていけるよう、これからも子供達の笑顔のために微力ではありますが、活動を続けていきたいと思います。（阿由葉弘美）

☆☆浜松おもちゃ図書館（会員 NO.38） 静岡県浜松市

「浜松おもちゃ図書館」は1983（昭和58）年に、静岡県第一号の図書館として、浜松こども園の中で開館されました。当時は、ドーム型のおしゃれな建物の中に200点程の世界各地のおもちゃが用意され、たくさんのボランティアさんのお力を借りながら、障がいのある子が、それぞれに合ったおもちゃで遊んだり、お母さん達の交流の場として、「子育てプラザ」的な役割も担っていたそうです。時代の流れと共に、子どもたちを取り巻く環境・社会資源も豊かになってきた事で、活動内容も少しずつ形を変え、現在は「おはなし図書館」として、読み聞かせボランティアさんによる心温まる活動を大切に行っています。又、当時の子どもたちが成長して「マリンバ教室」や「わいわい青年学級」にも発展しています。在り方は変わっても、子どもたちに寄り添い、時にお家の方たちとの交流の場として、浜松おもちゃ図書館の活動を繋げ、これから先も長く続いていける様に頑張りたいと思います。（福士めぐみ）

☆☆春日井市おもちゃ図書館はるかぜ（会員 NO.66）愛知県春日井市

春日井市おもちゃ図書館はるかぜは、1984 年8月に社会福祉協議会の講座の受講生らで開設されました。当初は、障がいのある子どもが通う小学校や保育園、療育施設を訪問し、おもちゃ図書館を知ってもらう活動が中心だったそうです。現在は、社会福祉協議会の事業として、私たちボランティアグループはるかぜが、総合福祉センターで月1回のあそぼう会と月2回のおもちゃの貸し出しを行っています。障がいのある子どもが育つ環境は、開設当初とは大きく変わっています。でも、たくさんのおもちゃに目を輝かせ、楽しそうに遊ぶ子どもたちの姿は変わっていないでしょう。そして、その姿が、私たちの活動の原動力です。これからも、子どもたちとその家族がおもちゃで楽しく遊び、ホッとできる居場所であり続け、今まで支えてこられた多くの人たちの想いをつなげていきたいと思っています。(可児直美)

☆☆しずおかおもちゃ図書館（会員 NO.194）静岡県静岡市

どの子も区別なく楽しく遊べるしずおかおもちゃ図書館が 40 周年。私のボランティア歴は 30 年。その前 5 年は親子で利用者でした。心地良くボランティアができて、思い出深い行事やイベント、そして個性あふれる人々との出会いと学び等あっと言う間に感じます。

重複障害の娘もいつの間にか青年ボランティアとなって、遊びに来てくれた幼い子どもに声をかけていました。やはり利用者から青年ボランティアとなった先輩たちも各人の力を生かして開館の準備、受付、子どもの世話、おもちゃの消毒、掃除など担ってくれています。日曜日の喫茶店でもチケット販売やウェイトレスを任されています。更に閉館後にハンドベルの練習をしてクリスマス会やたのしいコンサートで発表するなどいろいろ大活躍です。

長く続いているおもちゃ図書館に今は孫たちも遊びに来て楽しんでいます。大勢の子どもたちにとっていつまでもワクワクのそしてホッとするおもちゃ図書館でありますように！（渥美祥）

☆☆ふじおもちゃ図書館（会員 NO.199）静岡県富士市

ふじおもちゃ図書館は、昭和 59 年そびな学園へ通う障がい児のために、そびな学園の一室におもちゃ本を置いたのがきっかけです。現在の場所に移転したのは平成 14 年、移転当初は週 3 日を健常児の開館日、日曜日の午前と午後を障がい児の開館日としました。年中行事としてお茶会やお話会も開催し、現在は毎年 12 月一週目の土曜日にクリスマス会を開催しています。

開催日で親子と関わる中、私たちボランティアも少しずつ障がいのあるお子さんについて理解し始めました。開館日では、広い部屋に大型のおもちゃから、精密なおもちゃまでいっぱいに広げて遊んでいる子どもたちを見ていると、本当に幸せを感じます。

月に一度のおもちゃ清掃日では、子どもたちが安心して利用できるように、細かいものも含めて一つ一つ丁寧に消毒をしています。40 周年を迎えられたので、次は 50 年・・・さらに新しいことも取り入れながら、ボランティアとして頑張っていきます。

（榊原秀子）

☆☆よこはま布えほんぐるーぷ（会員 NO.205）神奈川県横浜市

1981年 「文庫の会　会長・長崎源之助」から独立し、障がいのある子ども達に「えほんの喜びを、おもちゃの楽しさを感じて欲しい」という思いから、読むだけでなく「さわる」「はめたり・はずしたり」できるものを考案したのが始まりです。「よこはま布えほんぐるーぷ」という名からもわかるように布を使用することにより、温かさの伝わる作品が出来あがりました。43 年の間に 55 種類の布えほん・95 種類の布おもちゃの考案・制作致しました。今では障がいのある子もない子も楽しめる布えほん・布おもちゃとなっています。設立当時より高齢化・コロナの影響もあり会員も減ってしまいましたが、無理をせずできる事を続け、まずは 50 周年を目指し活動していきたいと思います。（園山裕子）

【いろいろな人にとっての居場所であるおもちゃ図書館】

永年活動表彰の皆さん、そして開館 40 周年の皆さん、おめでとうございます。

どのおもちゃ図書館も誕生のプロセスは違っていても、子どもたち、その家族の拠り所として、居場所として長い事存在していることは嬉しいことです。

また、おもちゃ図書館ボランティアにとっても、おもちゃ図書館は貴重な場でもあります。仲間作り、これは自身の所属しているおもちゃ図書館だけではなく、日本中・世界中に仲間がいます。誰もが 1 人じゃない！社会の一員として活動しているという自負もあります。お互いにまだまだ頑張りましょう！

福岡県　おもちゃの図書館おもちゃの家でんでんむし　　篠原　敬子

＊東京おもちゃショー2024＊

2024 年 8 月 29 日～9 月 1 日　東京国際展示場（ビッグサイト）

今年の東京おもちゃショーは、例年の６月から日程が変更となり、８月夏休みの終わりに開催されました。大型の台風の進路が気になるところでしたが、予定通り開催され、多くの人でにぎわっていました。毎年、東京おもちゃショー出展の際におもちゃメーカーの皆さまより、サンプル品や展示品などのおもちゃを寄贈していただいておりますが、今年も企業の皆さまに事前に「おもちゃ寄贈のお願い」をしたところ、たくさんのおもちゃをいただきました。ご協力くださった企業の皆さまには心より感謝申し上げます。いただいたおもちゃはこれから全国のおもちゃ図書館に希望を募ってお送りいたします。

【おもちゃを寄贈していただいた企業】(敬称略　順不同)

イワヤ（株）　（株）ドリームブロッサム　（株）ハピネット　マルカ（株）　（株）石川玩具
（株）タカラトミーアーツ　（株）カワダ　（株）エンスカイ　（株）池田工業社　（株）トイコー
（株）ジョイパレット　（株）アガツマ　ハズブロジャパン合同会社　カヨ通商（株）
マテル・インターナショナル（株）　プラントイジャパン（株）　（株）メガハウス　（株）ジーピー
（株）ローヤル　（株）パイロットコーポレーション

＊感謝状を贈呈いたしました＊

９月30日（月）株式会社パイロットコーポレーション様の本社にお伺いしました。パイロット様からは、長年にわたり全国のおもちゃ図書館に、メルちゃんやすいすいおえかきなどの知育玩具をご寄贈いただいており、お礼を申し上げるとともに、取締役上席執行委員の小平岳志様に感謝状をお渡ししました。

そののち、小平様と玩具事業部部長の清水康宏様とともに、おもちゃ図書館活動でのおもちゃの果たす役割、おもちゃ図書館活動の変遷などについてお話ししました。数多く寄せられている、おもちゃ図書館の皆さんの感謝の気持ちをお伝えでき、とても良い機会となりました。ありがとうございました。

右（株）パイロットコーポレーション小平様
中　全国連絡会鈴木理事長
左（株）パイロットコーポレーション清水様

能登半島地震　被災地域の支援について

2024 年 1 月 1 日発生した能登半島地震では、石川県輪島市、七尾市のおもちゃ図書館は、それぞれ地域全体が大きな被害を受けましたが、少しずつ活動を再開し、地域においてご自身たちも様々な支援にもあたっていました。そんなおり、9 月に輪島で豪雨による災害があり市内も浸水被害が広がりました。全国の皆さまから温かいご支援もたくさんいただいておりますが、今後も引き続き募集しておりますので、ご支援どうぞよろしくお願いいたします。全国連絡会では現地の皆さんと相談しながら、必要な支援活動を継続して実施していきます。

【8 月 4 日・輪島市にて「夏休み輪くわくこどもフェスタ」を開催しました】

午前、午後の 2 部構成で実施しました。延べ参加人数は 180 名を超え、乳幼児親子から小中学生まで、幅広い参加がありました。輪島の皆さん、本当にお世話になりました。子どもたちの目が輝いていて楽しそうに遊んでいた姿が、本当に嬉しかったです。おもちゃ図書館のボランティアさんをはじめ、輪島のボランティアさん、そして支援センターの職員の皆さん、気持ちよく笑顔でてきぱきと対応していただき、本当にありがたかったです。これからも、私たちができる支援を続けていきたいと思います。

【七尾市おもちゃ図書館こあらを訪問しました】

8 月 3 日(土)輪島へむかう途中、七尾市のおもちゃ図書館こあらへ立ち寄りました。おもちゃ図書館の運営団体である NPO 法人ぽっかぽかは子育て支援センターなどの「親子ふれあいランド」の運営管理も担っています。親子ふれあいランドのある矢田郷地区コミュニティセンターのホールは 8 月時点でも避難所として被災された方が生活していて私たちが到着したときはちょうど昼食の炊き出しが行われていました。七尾市の状況は、私たちにはなかなか情報が入ってきませんが、会場の矢田郷地区コミュニティセンターは 8 月に入ってようやく下水が使えるようになって館内のトイレ一部が使用可能になったばかりとのことでした。センター前には仮設トイレも設置されたままで、暑い中、大変な状況が続いていたと知ることができました。ぽっかぽかの幅広い活動も丁寧に説明していただきました。ありがとうございました。

代表の滝さんより

今回の地震では、全国のおもちゃ図書館の方々から様々なご支援をいただき、また今回皆さんにお会いすることができて本当によかったです。皆さまに感謝申し上げます。

☆2024 年 10 月 22 日現在の支援金109件　1,462,967 円

☆TOY らいぶらりあん養成講座・専門研修

※詳細は HP に掲載しています。
お申込みは Google フォームから
どうぞ

日程　2024 年 11 月 24 日（日）10：00～12：00
ZOOM によるオンライン
内容　①「おもちゃ図書館だからできること」　講師：理事長 鈴木訪子
～ボランティアがつくる多世代交流の遊びの場～
②事例発表　釧路市おもちゃライブラリー/浦和トイライブラリーおもちゃ箱

【おもちゃ図書館に関するご相談について】

おもちゃ図書館に関するご相談、お問い合わせ等は事務局にて随時承っております。 おもちゃ図書館に遊びに行きたい、ボランティアをしてみたい、助成金、新規立ち上げ、研修・・などなんでもどうぞ！

火～金　10：00～16：30
TEL:０３-６８０７-８８１３
E-mail:renrakukai@toylib-jpn.org

☆事務局・年末年始休暇のお知らせ

12月27日（金）～1月6日（月）

お急ぎのご用件のある方は
メールにてご連絡ください。

新入会員のご紹介

≪NO.819≫羽犬塚子育てサロンおもちゃ図書館（福岡県筑後市）
≪NO.820≫八代おもちゃの広場（熊本県八代市）
≪NO.821≫辰野おもちゃ図書館「カランコエ」（長野県辰野町）
≪NO.822≫都島区おもちゃ図書館すきっぷ（大阪府大阪市）
≪NO.823≫おもちゃ図書館おもちゃの部屋 Role ろおる
（香川県さぬき市）
≪NO.824≫おもちゃ図書館そら（北海道上富良野町）
≪NO.825≫Sho’s Catstle おもちゃ図書館（埼玉県さいたま市）
≪NO.826≫深谷おもちゃ図書館にこ（埼玉県深谷市）
≪NO.827≫☆きらにこ☆ルームおもちゃ図書館（新潟県上越市）
≪NO.828≫toitoitoi おもちゃ図書館（兵庫県尼崎市）

《ご支援のお願い》

当連絡会は、子どもたちの様々なニーズに応え、地域福祉の要となる各地域の「おもちゃ図書館」を応援しています。ぜひ皆さまからのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【賛助会費・寄付の口座】
三井住友銀行　町屋支店
口座番号　普通７０１３９３０
（口座名）
特定非営利活動法人
おもちゃの図書館全国連絡会

※事前に事務局あてに申込書をご提出ください。

～ありがとうございます～

各種ご支援をいただきました。（順不同・敬称略）

☆賛助会費 小泉康代 若林久代　杉田千代　茅根弘子 平蔵見子 石澤希代子 千島真理　若林宏美　小泉徹 山口智帆 杉田信忠 大倉一美　若林里美　中澤芳美　稲垣恵子 鈴木訪子 山田千明　三宅正臣 三浦鯉登　片桐貞子 齋藤勝子　成田道子
☆被災地支援金　小国おもちゃ図書館ミルク NPO 法人めだかふぁみりぃ 小泉康代 竹倉真衣（募金）小松おもちゃ図書館サン・アビ 金順子 釧路市おもちゃライブラリーボランティアグループ　工藤貴子
☆物品寄付　イワヤ（株）（株）ドリームブロッサム　（株）すごろくや（株）ハピネット　マルカ（株）（株）タカラトミーアーツ　（株）石川玩具　（株）カワダ　（株）エンスカイ　（株）池田工業社（株）ジョイパレット　（株）アガツマ　ハズブロジャパン合同会社　マテル・インターナショナル（株）（株）トイコー　プラントイジャパン（株）（株）メガハウス　（株）ジーピー（株）ローヤル（株）パイロットコーポレーション　カヨ通商（株）（株）大泉工場　（社福）めだかすとりぃむ
新居浜市おもちゃ図書館きしゃポッポ

＜編集後記＞

ネットワーク会議での輪島の現状報告、地震からの復興が進んでいると聞いたばかりの９月豪雨、仮設住宅も冠水し、泥出し作業が続いているとのこと。心が痛みます。早く普通の生活ができますよう願っております（園山）

（編集委員：安達・岸・篠原・園山・藤井）